

ごんた坂

第 10 号

～光陵会同窓会報～

<発行所>
神奈川県立光陵高等学校
光陵会

<印刷所>
株式会社アーツ

2005年度 光陵祭

(2005/10/1～2)



光陵会 会長 太田 秀和

光陵高校が40周年を迎えるのに先立ち、この「ごんた坂」も節目の10号をお届けすることができました。

2期生の私は今54歳です。光陵高校を卒業したおかげで、多くの先輩・後輩との楽しい出会いを重ねてきました。

もちろん同期との出会いは一生の宝です。何十年離れていてもまるで魔法をつかったように一瞬であの輝いていた光陵生時代にもどって会話することができます。そして私にはそれ以外にもたくさんの出会いがありました。

これからの人生の中でも、光陵生同士の再会や新しい出会いを大切に、お互いに刺激し合い、高め合えたらいいと思います。高め合うには広い意味での勉強を怠ることなく、自分を磨くことが必要です。光陵の仲間いつでも会える自分であるために、努力したいものですね。

「暖かい懐に抱かれるがとき安らぎを与えてくれる」仲間たちに、大いなる未来があることを願ってやみません。

今回も、この会報をつくってくれた光陵会スタッフの皆さんに感謝します。



校長 田邊 克彦

今年度も学区撤廃後の初の新生を迎え、創立四十周年の記念の年が順調にスタートしました。五月には、三人行事の一つである体育祭が澁刺と行われ、新生はすっかり「光陵われをつくりわれら光陵をつくる」光陵生になって、皆様の後輩として恥ずかしくない活躍しております。

四十周年記念行事につきましては、光陵会の代表も加わった実行委員会を発足させ、すでに準備をはじめており、来年六月二十日に鎌倉芸術館にて式典等を行う予定であります。

さて最近、高校生をはじめとした勤労観、職業観について課題が指摘され、フリーターやニートの増大が危惧されております。本校としても従来の指導内容を検証し、教育課程全体を通じた大学進学を前提とするキャリア教育指導プログラムを構築する必要があります。そこで今年度の学校目標に掲げ、県のキャリア教育モデル校にもなっておりますので、今後ボランティアで講師をお願いするなど、様々な機会に光陵会の皆様にご協力をいただきたいと思います。

2004年度 光陵会役員 (2004/11～2005/11)

会 長	太田 秀和(2-2)	事務局長	澤瀬 翔一(34-5)
副 会 長	大道 正夫(4-1) / 山本 勉(4-1)	副 局 長	高木 寛奈(33-6) / 播口 陽介(36-2)
理 事	古藤田謙治(5-1) / 藤原 真人(22-2)	会 計	志田 真澄(35-7)
	柿崎 祐一(25-1) / 仁部 智幸(25-6)	会計補佐	高椋 敬之(31-7) / 佐藤 愛美(36-8)
	藤原 直人(31-5)	書 記	関口 慎吾(33-1)
監 査	上原 武(25-8) / 高橋 芳昌(33-4)		

※括弧内は卒業期・組

平成17年度 光陵会総会・懇親会のご案内

今年も権太坂、光陵高校での開催が決定！！

来る11月19日(土)に光陵会総会・懇親会を開催いたします。昨年・一昨年と大好評を頂きましたが、今年も母校・光陵高校での開催が決定いたしました。

是非この機会に、懐かしい母校を訪れ、高校時代を思い出してみても如何でしょうか。

アニバーサリー期

今年、ご卒業30年、25年、20年、10年にあたる「7期、12期、17期、27期」の皆様には「卒業アニバーサリー期」として特に多くお集まりいただきたく、当時担任をされていた先生にご出席を予定いただいております。お世話になった先生を囲んで、思い出話に花を咲かせてください。

ワークピア横浜にて懇親会開催

総会・記念講演後、山下公園そばのワークピア横浜へタクシー(光陵会で用意します)で移動し、懇親会を行います。世代を越えた光陵高校の卒業生が一同に集まる楽しい宴会です。懐かしい再会と新しい出会いがきっとあるはず。是非、ご参加ください。

小笹猛先生による記念講演

一昨年の光陵高校での開催と同時にスタートし大好評をいただいております、懐かしの先生による講演を今年も行います。今年は社会科(政治経済)の小笹猛先生にご講演いただくことになりました。

当時、授業を受けられた方はもちろんのこと、初めての方も必見です。

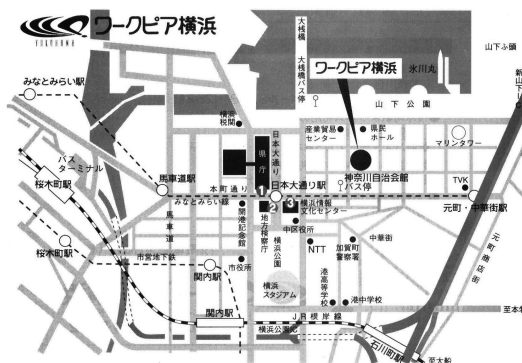
- 総会
 - ・日時 平成17年11月19日(土) 14:00
(13:30より受付)
 - ・会費 無料
 - ・場所 「光陵高校 視聴覚室」
(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)

上履きは各自でご用意ください。

- 懇親会
 - ・日時 平成17年11月19日(土) 17:00
(16:30より受付)
 - ・場所 「ワークピア横浜」
(横浜市中区山下町24-1)
<http://www.workpia.or.jp/>
 - ・会費 特別会員(現旧教職員)・・・¥5,000
一般料金・・・おひとり ¥7,000
夫婦料金・・・ご夫婦で ¥10,000
学生料金・・・おひとり ¥3,000

※夫婦料金は、パートナーの方が光陵卒でなくても結構です。

※高校生以下のお子様は無料ですので、是非、ご家族でお越しください。



お手数ではございますが、ご都合の程を同封のハガキにて11月10日(木)までにお知らせください。

また、当日は駐車できませんのでお車でのご来場は固くお断り申し上げます。(光陵高校から懇親会会場までの交通手段は光陵会で用意します。)

※ご不明な点は光陵会ホームページをご覧ください。

<http://koryokai.jp/>

31 期生が同期会を開催しました

2005 年 3 月某日、本年度懇親会の会場ともなっていますワークピア横浜にて 31 期生の同期会が開催されました。31 期生とは 1999 年 3 月に光陵高校を卒業した方々で、今年で 25 歳になる世代です。実に 6 年ぶりとなる同期生の再会、なんと 130 名もの卒業生が参加し、懐かしい思い出話に花を咲かせました。また、3 年次に 31 期生の担任をされていた先生方（1 組：善方徹先生、2 組：高原正人先生、3 組：佐藤一義先生、4 組：増田隆二先生、5 組：大嶋啓子先生、6 組：西村宗一郎先生、7 組：小崎裕之先生、8 組：河野雅道先生）が全員参加され、先生方からは当時の思い出や 31 期生への激励もあり、大盛況の 2 時間となりました。



光陵会では 31 期同期会の幹事の皆様に今回の同期会についてのお話を伺いました。

（同期会を開催する上で一番苦勞した点、また工夫された点は何ですか？）

「やはり同期会の告知と人数集め、出席者の把握です。告知については PC 用と携帯電話用のホームページの作成、開催 2 ヶ月前の往復ハガキでの案内と 2 週間前にハガキでの最終案内をしました。出欠の連絡はホームページから返信を出来るようにしました。また誰もが気になる出席予定者はホームページ上でイニシャル公開をし、随時更新を行いました。先生方からは出欠のご連絡と共に 31 期生へのメッセージを頂き、それをホームページで公開するなどしました。幹事となった光陵生の仲間たちがそれぞれの得意分野やアイデアを活かしたこのホームページはとても素晴らしいものでした。」



31 期生のホームページ

（同期会を開催していかがでしたか？）

「我々の世代は就職、結婚など劇的に生活が変化し始める時です。今回このような機会を持てたことは、私たちの人生の再出発となる今に相応しいのではないかと思います。これを機に連絡を取り合う機会も減っていた高校時代の友人ともまた連絡をするようになりました。これからも光陵高校の思い出をいつまでも忘れない仲間たちでいたいと思います。」



奇数・偶数クラスに分かれての記念撮影

光陵会では各期の皆様の同期会を支援しております。近年では微力ながらも 31 期をはじめ、16 期、30 期、33 期の同期会を支援させて頂きました。皆様の期でも同期会を開催されてみてはいかがでしょうか？

特集

光陵の新しい取り組み —キャリアガイダンス—

現在、進学や就職をめぐる環境は激しく変化しています。そんな中で、生徒達の様々な職業に対する能力や資質を探ったり、生徒が興味を持っている職業についてより深く知識を得たりするために、学校におけるキャリア教育^(注)の必要性が高まっています。

そこで、光陵高校ではキャリア教育の一環として、本年度よりキャリアガイダンスを行うことになりました。キャリアガイダンスでは、各分野でご活躍の卒業生の方々を講師として学校へお招きし、御自身の職業について現役生徒にお話して頂きます。生徒達は、それぞれ自分が聞いてみたい、または興味をもっている職種の講話に参加します。そうして、現役生徒は普段知ることの難しい専門職について、より興味や知識を深めることができます。

例えば、「弁護士になりたい」という将来の希望をもった生徒がいても、普通ならば実際に弁護士の方にお話を伺える機会はなかなかありません。しかし、このキャリアガイダンスを通して、その生徒は弁護士の方の生の声を聞くことができます。

弁護士を例にとりましたが、これはもちろんどのような職種についてもいえる事です。卒業生の声が、きっと現役生徒の大きな力となっていくに違いありません。

キャリアガイダンスは現役生徒にとって、専門職の方のお話を伺うことのできる、またとない貴重なチャンスとなることでしょう。

さて、そのキャリアガイダンスですが、本年度は平成18年の3月18日(金)に実施が予定されています。そこで、本年度及び来年度以降のキャリアガイダンスで、御自身の職業についてお話をして頂ける方に、卒業生の人材バンクへの登録をお願い致します。ご登録を頂いた方には、ボランティアとして可能な範囲で、キャリアガイダンスをはじめとするキャリア教育への協力をお願いしたいと考えております。

登録・お問い合わせにつきましては、

光陵高校(〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1) もしくは、

光陵会副会長 4期 大道正夫 (omichim@nifty.com) までお願いいたします。

(注)キャリア教育とは、職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する力を養うための教育のこと。

小田原高校に取材に行っただけではありません

キャリアガイダンス実施に向け、私たち光陵会としてもこの取り組みに全面的に協力していくこととしました。そこで、このような活動に早くから取り組んでいる小田原高校を訪問し、担当の神戸（かんべ）先生に色々とお話を伺いました。

取材にあたったのは、36期 井河鷹介と佐藤愛美です。

井河・佐藤（以下 井）：キャリアガイダンスを行うにあたって、やはり講師集めには苦労されたのでは？？

神戸先生（以下 神）：そうですね。私も当初は本当に参加者が集まるのか不安でした。しかし、同窓会報やホームページを通じて同窓生などをお願いした結果、予想以上の参加をいただけました。大変ありがたい事です。

井：キャリアガイダンスを行って、生徒達の反響はいかがでしたか？

神：大多数の生徒は良かったです。“もやもやしていたものが晴れた”、“夢に向かって頑張ろうと思えた”などの感想が多いですね。中には講師の方のお話に感激し、終わった後個人的にメールを打つという生徒もいました。

井：生徒からのメールを受け取った講師の方はとても嬉しいでしょうね。

神：ええ、そうなんです。生徒のメールでまた講師の方も感激し、キャリアガイダンスに参加してよかったと思って下さるようです。また、キャリアガイダンス終了後に生徒達にアンケートを取り、講師の方々にお渡ししています。それを読んだ講師の方々は、自分の存在意義を感じ、自分の持っているモノをもっと生徒にぶつきたい！と思うみたいです。それがまた次回に繋がっていくのだと思います。結果的には、講師は生徒から元気を貰っているんです。

井：キャリアガイダンスは生徒だけでなく、講師の方々にも大きな影響を与えているんですね。

神：その通りです。前回のキャリアガイダンスでは、わざわざ名古屋から飛行機で来てくださった講師の方もいらっしゃいました。もちろん交通費は自腹で…。私は、このキャリアガイダンスが何かのきっかけ作りになってもらえれば良いな、と思っています。生徒達に、「人生って面白いじゃん！」と感じてもらえれば最高ですよ。

井：この「先輩助っ人バンク」を利用した、更なる発展を考えていますか？

神：目的は『つながり』です。「愛校心」、そのエネルギーが集まったとき、暖かい気持ちで見守ってくれたらそれが新しい『つながり』になっていくのです。『つながり』は財産です。ただの講演会だけでは終わらせません。まあ、今はまだ秘密ですけどね（笑）。



↑ 早く取材に応じてくださった神戸先生(右) 左は光陵会・井河

光陵会会則改正について

光陵会幹事会では、事務局組織の活動を円滑にするために、役員体制と会計年度について検討を進めてまいりました。その結果、以下のように会則を改正することが妥当であるとして、光陵会会則第21条(※)に基づき、昨年度第2回幹事会(9月)にて発議され、総会(11月)にて承認されました。

改正後

第15条 本会に次の役員をおく。

名誉会長 1名 会長 1名 副会長 数名
 監査 2名 理事 数名 顧問 数名
 事務局長 1名 副局長 2名 会計 1名
 会計補佐 2名 書記 1名

第16条 名誉会長には母校校長を推戴する。会長、副会長、監査、理事、事務局長、副局長、会計、会計補佐、書記の各役員は正会員中より、幹事会の推薦により決定し、総会の承認を得る。また顧問は母校現職員に委嘱する。

第19条 会計年度は毎年8月1日から翌年7月31日迄とする。

改正前

第15条 本会に次の役員をおく。

名誉会長 1名 会長 1名 副会長 1名
 会計 2名 会計監査 2名 書記 2名
 理事 若干名 顧問 若干名

第16条 名誉会長には母校校長を推戴する。会長、副会長、会計、会計監査、書記、理事の各役員は正会員中より、幹事会の推薦により決定し、総会の承認を得る。また顧問は母校現職員に委嘱する。

第19条 会計年度は毎年11月1日から翌年の10月31日迄とする。

(※) 第21条 会則の改正は幹事会の出席幹事の3分の2以上の賛成で幹事会が発議し総会にて出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

光陵会会計報告

2003年度決算

(収入の部)	
入会費・終身会費	3,070,000
同窓会会費	463,000
賛助金	76,000
名簿売上	786,400
前年度繰越金	10,163,458
合計	14,558,858
(支出の部)	
通信費	792,674
印刷費	474,817
事務費	14,804
運営費	420,565
交通費	95,095
同窓会費	481,576
HP運用費	20,302
合計	2,299,833

収支差額 12,259,025

2004年度予算

(収入の部)	
入会費・終身会費	2,660,000
同窓会会費	400,000
賛助金	50,000
前年度繰越金	12,259,025
合計	15,369,025
(支出の部)	
通信費	100,000
印刷費	20,000
事務費	20,000
運営費	300,000
交通費	100,000
同窓会費	500,000
HP運用費	60,000
備品購入費	40,000
合計	1,140,000

収支差額 14,229,025

光陵会 賛助金芳名簿

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通りみなさまの温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、ここにご報告します。

今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

佐藤 吉孝(特別会員)

千葉 進(5-3)

橋本 和彦(6-4)

※敬称略

平成17年7月31日現在

進路状況

(平成 16 年度
合格者数一覧)

◆ 今年も光陵生はがんばりました!! ◆

《国立大学》

学 校 名	総数(前年比)	現役
茨城大学	1 (+1)	0
お茶の水女子大学	1 (+1)	1
群馬大学	1 (0)	1
静岡大学	6 (+4)	5
千葉大学	1 (-2)	0
筑波大学	1 (-3)	1
電気通信大学	3 (+2)	1
東京大学	1 (0)	1
東京海洋大学	1 (0)	0
東京学芸大学	2 (+1)	1
東京芸術大学	1 (0)	0
東京工業大学	6 (+2)	1
東北大学	2 (+2)	0
浜松医科大学	1 (+1)	1
一橋大学	1 (+1)	1
横浜国立大学	17 (+7)	7
合 計	46 (+2)	21

《公立大学》

学 校 名	総数(前年比)	現役
公立はこだて未来大学	1 (+1)	0
首都大学東京	4 (※+2)	3
横浜市立大学	11 (+3)	9
合 計	16 (-1)	12

※・・・平成15年度東京都立大学合格者数と比較

《私立大学》

学 校 名	総数(前年比)	現役
青山学院大学	42 (+11)	20
麻布大学	6 (+5)	3
学習院大学	7 (+4)	4
神奈川大学	34 (+12)	16
北里大学	6 (-7)	1
慶應義塾大学	16 (-14)	9
国際基督教大学	1 (-2)	1
駒澤大学	11 (+4)	5
芝浦工業大学	16 (-6)	6
上智大学	18 (+3)	6
成蹊大学	6 (0)	3
成城大学	6 (-3)	3
専修大学	14 (+8)	9
玉川大学	6 (0)	3
中央大学	48 (+18)	27

学 校 名	総数(前年比)	現役
東海大学	11 (+6)	4
東京電機大学	4 (-2)	2
東京農業大学	13 (-3)	11
東京薬科大学	3 (+2)	2
東京理科大学	25 (-10)	5
東洋大学	6 (+6)	2
日本大学	35 (+13)	19
日本女子大学	5 (-6)	2
法政大学	39 (+15)	20
武蔵工業大学	18 (+3)	2
明治大学	75 (+26)	33
明治学院大学	53 (+36)	23
立教大学	34 (+7)	13
立命館大学	4 (-2)	0
早稲田大学	61 (+12)	19
その他	110 (-10)	53
合 計	733 (+126)	326

《その他》

校 種	総数(前年比)	現役
短期大学	5 (-7)	4
文部科学省外所管	2 (+1)	2
各種・専門学校	6 (-1)	4

現役の光陵生も様々な分野で
大健闘しています!

部活等実績 (2004年7月～2005年6月)

サッカー	関東大会県予選		県ベスト32
	高校総体県予選		県ベスト32
	新人県大会		県ベスト32
男子バスケットボール	高校総体県予選	地区ブロック	決勝進出
陸上競技	関東大会本大会	女子7種競技	第6位
	高校総体県予選	女子7種競技	第3位
		女子砲丸投げ	第7位
		男子走り高跳び	第8位
囲 碁	県高校秋季囲碁大会	団 体	第3位
	県高校囲碁選手権大会	団 体	第2位
演 劇	地 区 大 会		最優秀賞
	中 央 大 会		優秀賞
※ 部 活 外	(社)全日本かるた協会 第12回全国多摩百人一首かるた大会 C級 優勝		
	全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門 第5位・奨励賞		

【平成17年3月 転出・退職】

教 頭 石塚 昭司 (1年) 寒川高等学校
国 語 今井 弘一 (4年) 翠嵐高等学校(定時)
国 語 外谷 武美 (4年) 希望ヶ丘高等学校(定時)(再任用)
社 会 近藤 哲司 (11年) 知事部局 横浜労働センター
数 学 津田 秀彦 (4年) 瀬谷西高等学校
体 育 田中 紀雄 (12年) 釜利谷高等学校
美 術 菱刈 俊作 (14年) 退職
英 語 盛岡 茂美 (8年) 麻溝台高等学校
司 書 野田 妙子 (1年) 退職
事務長 高崎 恵美子 (4年) 橋本高等学校

※ () 内の年数は本校在職年数を示します。

【平成17年4月 転入】

教 頭 黒木 清次 横浜緑が丘高等学校
国 語 伊藤 文雄 商工高等学校
国 語 岸川 浩幸 秦野高等学校
数 学 池末 雄太 新任
数 学 塩田 義行 和泉高等学校
英 語 黒崎 浩 高校教育課
美 術 石川 たける 弥栄西高等学校
事務長 高村 実 湘南台高等学校

教職員異動状況

光陵高校40周年にあたって 賛助金のご協力をお願いします

来年行われる光陵高校40周年記念式典において、光陵会は母校に50万円の寄付を行う方針を幹事会において決定しました。しかし、光陵会は近年の少子化に伴う生徒数の減少により財政が逼迫し、長期的な会の存続が懸念されています。

そこで、会員の皆様に1口1,000円で賛助金をお願いしたいと思います。なお、3口以上賛助金を出資していただいた方には、光陵高校で作成する40周年記念誌(来年6月発刊予定)を贈呈させていただきます。ご賛同いただける方は、以下の口座まで卒業期・組・氏名がわかりますようにお振り込みください。何卒、ご協力よろしくお願い致します。

横浜銀行緑園都市支店 口座番号:367-1187951 名義人:光陵会

《会員名簿の取扱について》

光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先の問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようです。これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容をご確認の上、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。

また、当然のことながら光陵会では第三者に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることがないよう、細心の注意を払っております。情報の外部への流出を避けるために、皆様におかれましても名簿の取扱には十分ご注意くださいよう、お願い申し上げます。

光陵会は昨年度、5年ぶりに新規名簿を発刊致しました。まだ購入されていない方で、購入をご希望の方は下記までご連絡ください。発送の手続きを致します。久方ぶりの同窓会に、ご協力できるのではないかと考えております。より多くの方のご購入をお待ち申し上げます。

宛先:「光陵会ホームページ」 <http://koryokai.jp/>
「光陵会メールアドレス」 staff@koryokai.jp

《寄稿のお願い》

光陵会では皆様楽しんでいただける会報を目指し、スタッフ一同、日夜努力しております。しかし、若い学生スタッフが中心となって動いていることもあり、どのような記事を書けば良いのか、頭を抱えております。

そこで、皆様に記事の元になるようなものを提供して下さるようお願い申し上げます。「私は今、こんなことをしています」「光陵のOB・OGでこんな活動をしている人がいるよ」などといったものなど、どんな些細なことでも構いません。ご協力をお願いします。また、「〇〇というのを開催しています」などの告知も募集しています。お気軽に下記「光陵会」までご一報ください。皆様で会報をより良いものにしていきましょう。

宛先:〒240-0026

横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1
神奈川県立光陵高校内「光陵会」

光陵会 Web サイトが リニューアル!

光陵会 Web サイト (<http://koryokai.jp/>) を立ち上げて早4年となりましたが、この度より見やすいサイトを目指してリニューアルいたしました。年に1度の総会および懇親会はもちろん、会報としてお馴染みの『ごんた坂』も見やすくなって再登場。また社会人の方々が現役高校生に対して仕事のお話をする「キャリア・ガイダンス」のための人材バンク登録も Web 上で募集いたします。そして以前から会報で募集している寄稿のコーナーを新たに設置。皆様からのお便りを掲載いたします。リンク集も大改造。光陵高校公式サイトをはじめ、部活サイトも掲載。クラスサイトは申し込み制となりますので、管理人の方は是非ご登録ください。

スタッフ一同、より皆様に光陵高校の情報を提供できるようにがんばってまいりますので、光陵会 Web サイトをよろしくお願いいたします。

あ と が き

『ごんた坂』第10号はいかがでしたでしょうか。早いもので、今年でこの会報の号数も二桁となりました。若いスタッフを中心に、先輩たちの築いた道を途切れさせることなくやってこれたことを非常に嬉しく思います。光陵会の活動も範囲が広くなり忙しくなりましたが、これからもスタッフ一同精一杯努力していきます。

会報や光陵会の活動へのご意見・ご感想等がございましたら「光陵会」までお寄せください。

会報の発行にあたり多くの方々にご協力いただき、心より感謝申し上げます。会員の皆様のご多幸をお祈りしつつあとがきに代えさせていただきます。

編集スタッフ